

おばあちゃんと暮らす - 核家族からの脱皮 -

5年後には、団塊の世代も70代になり、第二の人生を送るようになっていく。その中、定年後のライフスタイルの変化や高齢化により、今の住まいを活用しきれずに持て余す世帯が増えることが予想される。また、夫婦で共働きをしている世帯は、年々増加傾向にあり、子育ての環境を確保することが難しくなっている。

そこで、核家族を基本として考えられてきた住まいの在り方をもう一度考え直し、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒にみんなで快適に楽しく暮らせる住まいを提案する。

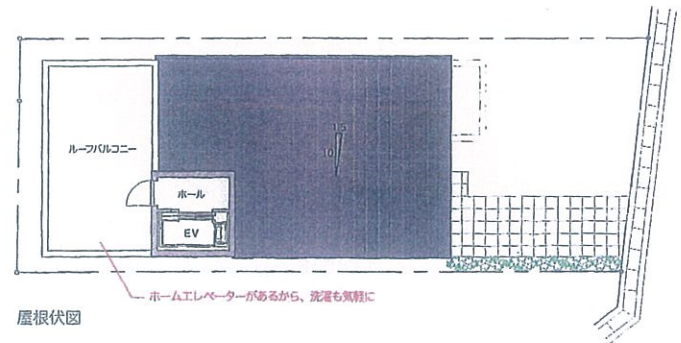
そのモデルケースとして下記のような家族構成の一家を想定する。



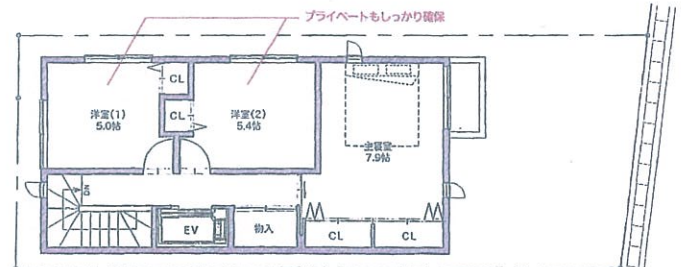
パパ 40才 息子 6才 おばあちゃん 72才 娘 9才 ママ 36才

おばあちゃんの持つ土地にみんなで暮らす家を作ることに。立地も阪神間という便利なところで、こどもの面倒も見てもらいながら共働きをする私たちにうってつけ。毎日の料理や洗濯はおばあちゃんにお願い、おそうじは私、パパにはお風呂そうじをしてもらおう。こどもたちはおばあちゃんが居ることで安心できるし、おばあちゃんもさみしい思いをせずに自宅での時間を過ごすことができる。

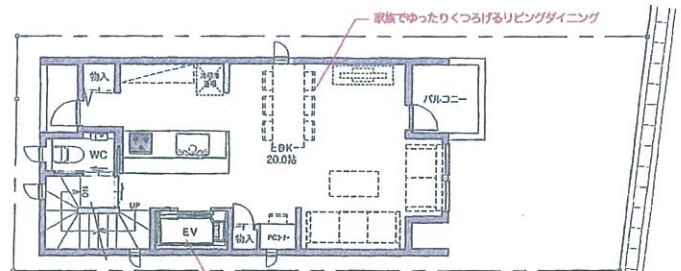
アプローチのスロープや、ホームエレベーターを設置することで、今は元気なおばあちゃんが将来的に、介護を必要とするときにも対応できるし、それぞれの個室とみんなでくつろげるリビングは、お互いのプライバシーを保ちながら、みんなで楽しい生活を送ることができる住まいにしてくれる。



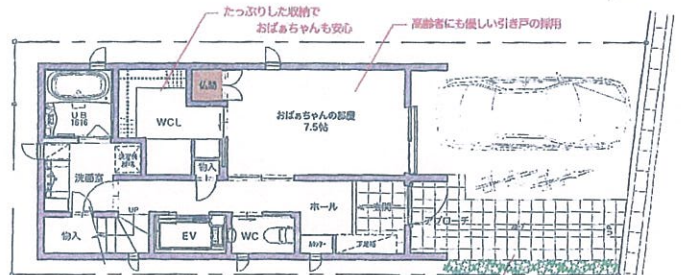
屋根伏図



3階平面図



2階平面図



1階平面図

